

私たちはいつまで魚が食べられるか？

演者：高橋正征氏

(東京大学・高知大学 名誉教授)

立正大学環境科学研究所では、高橋正征先生（東京大学・高知大学 名誉教授、前台湾国立中山大学特約教授、日本水産資源保護協会副会長、日本科学協会理事）をお招きして、下記のとおり、講演会を開催します。一般の方もぜひご参加ください。

記

日 時：2015年7月7日（火）12時50分から14時20分

場 所：立正大学熊谷キャンパスアカデミックキューブ2階 A201教室

(〒360-0194 埼玉県熊谷市万吉1700)

内 容：人口増加と個人の魚消費が進んで世界の魚消費量の増加が著しい。天然魚の漁獲量は限界に達し、2012年には必要魚の半分が養殖生産となった。今後は養殖生産が主になることは疑いない。養殖生産の工夫と、同時に、多様な天然魚の資源維持には、漁業規制の強化と海域肥沃化による天然魚生産量の増大が喫緊の課題である。

参加費：無料（予約も不要です。会場教室入口にて受付をしてください）

アクセス：国際十王交通バス（森林公園駅→立正大学、熊谷駅南口→立正大学）、

車の場合には、立正大学の駐車場をご利用ください。

お問い合わせ：立正大学地球環境科学部事務室（電話：048-539-1630）